

結の心を大切にし、誰もがきらきらと輝き共に助け合い、支えあう福祉のまちづくりを目指して

たけとみちょう
No. 29
2019年(平成31年3月)

社協だより



編集・発行 / 社会福祉法人 **竹富町社会福祉協議会** / 事務局 〒907-0012 石垣市美崎町16番地6
TAKETOMI TOWN SOCIAL WELFARE CONFERENCE 離島等相当居宅介護支援事業所 離島等相当通所介護事業所 訪問介護ステーション **さみん**
Phone(0980)84-3302 (直)・(0980) 82-3002 (Fax兼用)
E-mail:takeshakyou@blue.ocn.ne.jp



[赤い羽根共同募金] 老人福祉事業
うえはら幼稚園にて地域交流イベント開催



園児には高齢者とふれあうことでお年寄りを敬う気持ちを育み、親しみをもつこと。高齢者には地域の幼稚園を知り、幼稚園教育への理解へつながることを目的とし、上原老人クラブ、西部地区の民生委員児童委員、関係者合わせて計54名が参加。全員でオカリナを作成(色づけ)し、実際に吹き、オカリナ演奏に合わせて歌い楽しみました。

もくじ

平成30年度 赤い羽根募金中間報告／平成31年度ボランティア保険加入について	2
平成30年度 歳末たすけあい募金実績報告	3
平成30年度 歳末たすけあい地域配分事業報告	4
ふれあいサロンボランティア募集／車椅子貸出しについて／ボランティアを始める前に	6
白浜小学校 ボランティア指定校2年間の活動報告	7
ボランティア研修報告(上原小学校・大原中学校教諭参加)／善意のご紹介	8

平成30年度
赤い羽根共同募金実績 中間報告
 ~広がれ!! 結いのまちづくり~

2,831,057円 (平成31年2月22日現在)

昨年10月よりスタートした赤い羽根共同募金運動へ、ご理解、ご協力、募金して下さった皆様、本当にありがとうございました。

募金種別	目標額(円)	募金実績額(円)		達成率
●戸別募金	480,000	1017件	503,642	104.92%
●職域募金	170,000	16件	154,107	90.65%
●学童募金	100,000	12件	182,323	182.32%
●法人募金	1,200,000	195件	1,826,290	152.19%
●個人募金		4件	19,177	
●その他	120,000	50件	145,518	121.26%
合計	2,070,000	1,294件	2,831,057	136.76%

赤い羽根共同募金は、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる事が出来るよう、「優しさや支え合いの輪」「共に支え合うまちづくり」の推進のために活用されます。



3月20日より平成31年度ボランティア活動保険の加入を受け付けます

- 対象となるボランティア活動●
自発的な意思により他人や社会に貢献する無償のボランティア活動で、竹富町社会福祉協議会の認めた活動。
- 補償内容●
ボランティア活動中の急激かつ偶然な事故により他人に怪我をさせたり、他人の物を壊したことに法律上の損害賠償責任を負われた場合に保険金をお支払いします。
- 補償期間●
2019年4月1日午前0時から2020年3月31日午後12時
☆中途加入の場合は、加入手続きの翌日となります

保険料

タイプ	プラン	Aプラン	Bプラン
基本タイプ		350円	510円
天災タイプ <small>(基本タイプ+地震・噴火・津波)</small>		500円	710円

☆保険金をお支払いできない例もございますので詳しくは社協窓口にあるリーフレットでご確認ください。



平成30年度 歳末たすけあい運動地域配分事業

～実績報告～



今年度は**事業総額 650,000 円**を配分し、各地域でイベントが行われました。

①竹富ぶなる会 助成額：10,000 円

日々忙しくしている婦人が『よんな～呼吸法』を習い、呼吸を深くし整えながらヨガの動きを取り入れた動きをし、心身共にリラックスし健康を意識することが出来ました。自分の身体を大切にすることが健康でなければ家族を守り地域行事をすることはできない。その後、3支会（西・東・仲筋集落）に分かれているのでなかなか交流できないが、これを機会にゆんたくしたり、ゲームをしたり交流を深めることが出来ました。

③干立子ども会 助成額：10,000 円

子ども達だけのクリスマス会をしました。男子は会場設営、女子はケーキのデコレーションを担当。ケンタッキー・フライドチキンとピザを食べ、ビンゴ大会・カラオケをして、楽しいクリスマス会となりました。計画・準備・進行・片付けまで子ども達だけでやることで、自主性・協調性を高めることが出来たと思います。

⑤豊原子ども会 助成額：30,000 円

集落内の未就学の子も達及び家族を招待して一緒にクリスマス会の準備（ケーキ作り、会場作り、飾りつけ）、ゲーム、食事を楽しみました。中学生～2歳児・大人みんなでハンカチ落としなどのゲームで交流できました。一緒にケーキを作る時や食事など小さい子を大きい子と一緒にできるようにして子ども達同士の交流も深まったようです。

⑦大原子ども会 助成額：30,000 円

日頃お世話になっている団体・職員を招待しました。買い出しから会場設営を小中学生で行い、ゲームやサンタクロースによるプレゼント交換をしました。皆で考えた楽しいクリスマスパーティーができました。

⑨黒島子ども育成会 助成額：30,000 円

島在住の子も達（0～15歳）約30名、保護者、教職員、地域を入れて約60名毎年恒例・年末クリスマス会を実施・企画・運営・進行すべて子ども会を中心として、手作りのイベントを楽しみました。笑いありの余興、保育園児の出し物等、沢山の方から楽しかったという感想を頂きました。また、企画・運営を行うことで、自主的・主体的な態度を育てることが出来、とてもすばらしいクリスマス会となりました。

②浦内公民館 助成額：30,000 円

16：00よりグランドゴルフをして、18：00に新年会スタート。まずは子ども達の唄・三線で「パスヌトゥリ節」で座を開き、子ども会や青年、夫婦などを対象にゲームをして、生まれ年の方々から挨拶をもらい、三線シヨールや天童よしみのモノマネでカラオケを披露してくれた婦人部長と副婦人部長。食べ物は、オードブルや魚の刺身の他にも、イノシシそばやミジユンの刺身もあった。新年会を催したことで、皆の笑顔が見られ、また距離も縮まった。

④浦内子ども会 助成額：20,000 円

幼稚園生から中学生・保護者参加のクリスマス会を実施しました。メインイベントのクリスマスリース作りでは、子ども達が拾ってきた松ぼっくり・木の実などを使って、それぞれ思い思いのリースを作り上げました。その後、クリスマスケーキを食べてレクリエーションもして楽しい一時を過ごしました。

⑥白浜公民館 助成額：30,000 円

恒例の新年会と併せ今回は8年ぶり2人の成人者を迎え地域あげ喜び、子ども達のシーサで歓迎できたことはとても嬉しい。2人の夢を語ってもらい親睦を深めました。又、地域一体となって交流をし地域の良さを知らしめたと思います。歳末たすけあい運動地域配分事業については十分説明し理解納得しているものと確信しております。ありがとうございました。

⑧大富子ども会 助成額：30,000 円

大富集落内へ、車の運転手へ向けて、安全運転を呼びかけるための看板作り、人形（母と子）も作成して、注意を促す。子ども達の字でアピールする事により、大人たちの意識が変わることを願う。

⑩黒島婦人会 助成額：30,000 円

黒島老人会を招き、黒島の民俗芸能の上映を新年会も兼ね、婦人会手作りの料理を振る舞いビデオ観賞交流会をしました。日頃から黒島老人会より、芸能の指導を頂いており、昨年の国立劇場の講演のDVDを放映し活動報告が出来ました。また1991年のイベントの映像も流し、自分達の若いころの踊りを見て、当時を懐かしみ、話が弾みました。婦人会も今までの練習を労ってもらい今後の伝統の継承と上達の励みになりました。

⑪小浜婦人会 助成額：10,000円

毎年開催している忘年会。今年は数年休会の織物展示会を復活。今後も継承できる様、いつものクリスマスプレゼントに加え、歳末たすけあい運動地域配分事業で頂いた費用でプレゼントを増やし、会員の嬉しさを倍増することができ、楽しいひと時を過ごす事ができた。

⑬中野公民館 助成額：30,000円

グランドゴルフ大会・子ども会と協力して餅つき大会を行い、公民館員家族みんなで新年を祝い、祝賀会を楽しんだ。いのしし汁や、婦人会が準備した料理、子どもたちがついたお餅などを食べながら、生まれ年の人が参加した余興が行われたり、子どもからお年寄りまで交流を深め楽しむことができた。

⑮干立公民館 助成額：30,000円

子ども会から老人クラブまで地域住民が参加し、10大ニュースを発表、ピンゴ大会、のど自慢大会を行う。地域住民の親睦を深めることができた。

⑰古見・美原子ども会 助成額：30,000円

古見・美原地域の方々へ年賀状を配布し地域周辺の植物でリース作り及びケーキデコレーション対決・イルミネーション点灯式等を行った。地域の方々との親睦を深め、子ども会活動をより理解し絆を深めることができた。

⑲船浮婦人会 助成額：30,000円

「平成30年度歳末たすけあい運動地域配分事業」の財源を利用して健康増進と子どもたち、若い人たちとの交流をスポーツやカラオケ、ゆんたくで楽しいひと時を過ごした。参加者は「楽しいひと時を過ごした」と言っていた。スポーツ（卓球、バトミントン）は毎火曜日に実施している。

⑳大原青年会 助成額：30,000円

年始の新年会として、西表大原地域住民のお互いの交流を深め、「もちつき」文化を体験してもらい、知識と経験を深めてもらう。おもちを自らついて食べることで、子ども達に楽しんでもらう。

㉑上原子ども会 助成額：30,000円

地域の方と凧作りや公民館新年会凧揚げ大会、もちつき大会に加えた昔遊びなどを通して、地域の昔の様子や手作り遊びなどの話が聞け良かった。色々な昔ながらの遊びを用意し小さな子から大人まで楽しめた。新年会では子ども達のパフォーマンスで会場を盛り上げ福袋を手にした子ども達は楽しい一日を過ごす事が出来ました。

⑫小浜子ども会 助成額：30,000円

中学生会員を主に予算内での買い出しリストの作成や全員が楽しめるレクリエーションやサプライズの企画など自主性を育むことができた。地域の団体や保護者への呼びかけなどでたくさんの差し入れや手伝いなどもあり子ども達もとても喜んでた。

⑭古見公民館 助成額：30,000円

小さい子どもから老人がたの世代間の交流や地元小学校の先生たちと普段あまり関わる事のない住民たちが一緒に楽しむ事が出来たことが有意義に感じられました。西表東部地区では古見集落のみが年末年始の行事がないため今後とも何らかの形で行事を催し、親睦を深めていけたらいいなと思いました。

⑯美原公民館 助成額：30,000円

公民館会員皆で料理を作りもちつき各団体の余興・ホールインワンゲーム等を行いました。新年を祝いながら美原地区、由布地区の親睦を深めることができた。

⑰細崎公民館 助成額：30,000円

世代間の交流も有り大変楽しい一日だった。グランドゴルフという誰でも気軽に挑戦できるスポーツを通して普段見られないような地域住民の顔も見られて皆で盛り上がった。ぶがりのうしでもゲーム大会等が有り大いに交流できた。

㉑波照間婦人会 助成額：30,000円

波照間の小中学生を対象に、青年会・NPO法人すむずれの家の協力でウォークラリーを開催した。小中学生は6つのグループに分かれ、診療所や灯台等10のポイントを回り、クイズに答えたり俳句を作ったりして楽しんだ。子ども達は島の歴史や自然について学ぶとともに、地域の方々との交流を深めることができた。

㉑船浦公民館 助成額：30,000円

もちつき大会、お正月遊び（かるた、羽子板、福笑い）昔ながらのお正月遊びやもちつきなどをしながら、公民館員との交流をもち、新年を祝い、祝賀会を行いました。

㉑西表青年会 助成額：30,000円

西表地区(干立・祖納地区)の0歳～中学3年生までの子ども達全員へ、西表青年会員がサンタやトナカイ、人気キャラクターに変装し、装飾を施した車両にてプレゼントを配布。小さな子ども達は大変喜んでおり、中学生3年生や保護者からは感謝の言葉を頂きました。また地域の先輩から「元気が出るサー」など子どもからお年寄りまで喜んで頂いた活動になりました。

竹富町ふれあいサロン ボランティア臨時募集中!!



自分には何が出来るのかな?

ボランティア体験を通して“新たな出会い”をしてみませんか。
誰もがみんなはじめてなので大丈夫です♪

ボランティアには勇気と積極性が大切です。自分ができると、やりやすいこと身の回りからみつけて勇気をだして一歩踏み込んでみませんか?ボランティア活動は続けていくとたくさんの発見や喜び、充実感が味わえるものです。あなたの笑顔を心まちにしてくださる方が必ずいらつしやいますよ。

西表島東部

- ★あしながおばさんの会(月1回 第2月曜日 10:00~13:30)
- ★こみゆサロン(月1回 第2水曜 10:00~12:00)
- ★大富ふれあいサロン(月1回 第3水曜日 13:30~15:30)
- ★豊原しらゆり会(月2回 第1・3金曜日 14:00~16:00)
- ★大原ぱいぬサロン(月1回 第2水曜日 13:30~15:30)

西表島西部

- ★結の会(月1回 第3木曜日 10:00~13:00)
- ★人生ゆいまーるの会(月1回 第3火曜日 10:00~13:00)

竹富島

- ★ほほえみの会(月1回 10:00~13:00)
- ★まーまーず(毎週木曜日 10:00~14:00)

波照間島

- ★ハイビスカスは一もに一(月1回 不定期開催 2時間程度)

車椅子貸出について

(目的)一時的に車椅子を必要とする人に対し、車椅子を貸出することにより日常生活の便宜を図りその福祉の推進に資する。

(対象者)竹富町内に住所を有し、一時的に車椅子を必要とする者。会長が認める者。

(貸出期間)貸出期間は原則として一ヶ月以内とする。ただし、会長が認める場合はその限りではない。

(使用料)車椅子の貸出しにかかる使用料は無料とする。

貸出手続き、維持・管理、事故等について確認したい方は、お気軽にお問い合わせください。



★現在、社協事務局にて、2台を貸出し受付しております。



できるときに、できるところで、
できることから、始めてみませんか♪

* ボランティアを始める前に…【4つのキーワード】*

①自主性・主体性をもった活動

他から強制されたり、義務としてではなく自分の意思で行う活動です。

②社会性・連帯性をもった活動

誰もがいきいきと豊かに暮らしていけるようにお互いに支え合い、学び合う活動です。

③無償性・無給性をもった活動

金銭的な報酬を期待して行う活動ではありません。

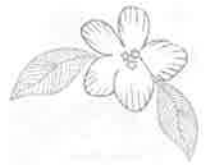
④創造性・先駆性をもった活動

今、何が必要とされているかを考えながら、よりよい社会を創る活動です。



ボランティア活動推進指定校 活動報告

白浜小学校 平成 28 年度～29 年度（2 年間）



（1）ボランティア活動推進のねらい

ボランティア活動を通して、児童の豊かな感性と思いやりの心を育む。
ボランティア活動を通して、地域社会の一員としての自覚を育む。
ボランティア活動を通して、地域への貢献する心を育む。



（2）活動内容

学校周辺道路の清掃 年間約 200 回
月末の地域清掃への参加 年間 12 回
花作り 地域の行事等へ提供（やまねこマラソン等） 年間約 24 回
地域の老人会と交流会
白浜サロンとの交流（学校で育てた野菜の提供、ハロウィン、バレンタイン、ホワイトデー）
推進校成果報告会

（3）事業実施による効果

学校周辺の道路の清掃は普段から行っていることなので、ボランティアをしているという気持ちではなく、日常的なあたりまえの活動として子どもたちはとらえている。

指定校 2 年目は、1 年目以上に「花づくり」に取組み、校内だけの美化ではなく、地域に貢献できたことは子どもたちにとっても地域の一員としての自覚も芽生えてきた。

指定校 2 年目は新たに白浜サロン（お年寄りの定期サロン）と 4 回交流会を持つことができた。子どもたちは地域のお年寄りの顔は知っているが、積極的に会話をするのがなかった。白浜サロンに野菜を提供したり、一緒に行事を行うことで、お年寄りに親近感を持てるようになった。

清掃活動や花づくりは日常的なあたりまえの活動として定着しているので、これからも継続していきたい。

白浜サロンとの交流は始まったばかりなので、今度はもっと密に交流できるよう回を重ねていきたい。

（4）反省点

朝のボランティア以外に子どもたちからの自主的な活動が生まれなかった。

白浜サロンとの交流会はもてたが、子ども達にまだ遠慮があり、積極的に会話をリードすることができなかった。

（5）課題

地域の海岸の清掃等も日常的に行いたいですが、ゴミ処理の問題があって活動を計画できない。

白浜サロンとは、今後交流だけではなく、庭の清掃等のボランティア活動を計画していきたい。

報告を受け、とても感動して喜んでいました。2年間、本当にありがとうございました。

お疲れ様でした。ボランティア活動は、これから中学、大学、社会人となったとき、ボランティアの心が皆さんを大きくします。そして大きな力になります。絶対、期待をうらぎりません。必ず皆さんの力になります。地域の一生懸命頑張ってきた方との交流、ふれあいをもつということはたいへんすばらしい事だと思っています。

これからもボランティア活動を続けていってほしいです。先生方のご協力ありがとうございました。



竹富町社会福祉協議会
会長 大城正明

ボランティア学習・福祉教育セミナー 2018 「学校・地域・家庭の協働による地域共生社会の実現をめざした福祉教育」

本セミナーは、学校と地域が協力して進める福祉教育の実践事例を通して、これからの福祉教育に必要な視点や展開について考え、沖縄県における福祉教育が広がり、子ども達の学び合いが深まることを目的に開催。

- 日時：平成 30 年 8 月 17 日(金)13:00~16:20
- 場所：沖縄県総合福祉センター東棟 4 階 403 号室
- 講義：「学校・地域・家庭の協働による地域共生社会の実現をめざした福祉教育」他
講師・新崎国広（大阪教育大学 教育学部 教育協働学科教育心理科学講座 教授）

講義を受けてみての感想



（大原中学校教諭：慶田盛よし乃さん）ボランティア指定校平成31年度～2年間予定
とても心を揺さぶられる講演でした。特に印象的だったのは、「依存力を高める」ということです。「自立とはいかに信頼できる人がいるかということ」ととても心に響きました。また、福祉教育についても、これまではただ、車いす体験やアイマスク体験をさせるだけで、それは福祉教育ではないということにも気付くことができました。地域社会の一員として、自分が何ができるかを考えることが大切だと思いました。「お節介な人間」になれるよう精進していきたいと思えます。



（上原小学校教諭：安里築さん）ボランティア指定校平成30年度～2年間
「地域の福祉力・教育力」を高めるためにはどうすることが重要かを考えさせられました。一番印象に残ったのは、自尊心や依存力というキーワードです。自分が関わった子ども達が肯定感を持って学校生活を過ごし、クラスメートに頼りながら、クラスメートにお節介するようなクラスを作って行けたらと思えました。

善意のご紹介

平成 30 年 5 月 25 日～平成 31 年 2 月 22 日



本会の社会福祉事業のためにと、次の方からご芳志をいただきました。
竹富町の地域福祉推進のため、大切にに使わせていただきます。



平成 30 年 9 月 27 日
株式会社 ピースアイランド
代表取締役 平安 秀昭 様
寄付 ¥200,000



平成 30 年 12 月 21 日
八重山電気工事業協同組合
理事長 新城 永一郎 様
寄付 ¥24,000



平成 30 年 12 月 26 日
南西開発 株式会社
代表取締役社長 玉城 修 様
寄付 ¥100,000